

京都GPN-news vol. 23

京都グリーン購入ネットワークニュース

報告！

第7回通常総会同時開催セミナー 「本業に、環境に、CSRに役立つグリーン購入」

TOPICS

2010年6月3日（木）、コープ.イン.京都にて第7回京都グリーン購入ネットワーク（以下京都GPN）通常総会と同時開催で「本業に、環境に、CSRに役立つグリーン購入」と題したセミナーを行いました。株式会社堀場製作所、株式会社ウエダ本社、株式会社ホンダカーズ京都（発表順）の3社がそれぞれの取り組み事例を発表しました。



京都GPN第7回通常総会会場の様子

事例紹介レポート



株式会社堀場製作所 社員食堂から広がる地産地消

事例紹介
#1

株式会社堀場製作所 総務部 環境・施設チーム ジョブリーダー 増岡 宏さん

株式会社堀場製作所は、京都GPNが主催する社員食堂での地産地消推進キャンペーン「社員食堂でエコ！おいしおす京都」に参加しています。キャンペーンは、社内の給食委員会が中心となって、社是である「おもしろおかしく」をいかして進めています。

本キャンペーンには、2008年に京都府が主催する社員食堂での地産地消推進事業「たんとおあがり！京都府産」の認定をきっかけに、食に関する環境負荷削減をさらにすすめることを目的に参加しました。キャンペーン期間中は、ポスターやテーブルにキャンペーンの案内を掲示したり、地産地消weekとして特に府内産食材を扱う強化期間を設けたり、メニューのサンプルケースに京野菜を置くことで食堂利用者に対して地産地消をPRしました。

社員に感想を聞いたところ、「食の安全、コスト面だけでなく、地域農業の活性化やCO₂削減など環境活動にもつながることを知った」「京都府産農産物を使ったメニュー楽しみながら地産地消について知ることができた」と、地産地消に関心があるなしに関わらず多くの社員に地産地消についてPRすることができました。

地産地消weekは、あらかじめ、野菜の仕入れ業者さんに季節ごとに対応可能な野菜を聞いておき、食材の価格が手ごろになる時期に設定しました。また食材を前もって野菜の仕入れ業者さんに依頼し、まとめて納品してもらうことによってコストUPを抑える工夫もしました。今後は、（株）京都青果合同様と提携し、地場野菜の社内販売などさらなる取り組みの拡大を検討しています。



株式会社ウエダ本社

“カーボンオフセット付複合機で 地域に再生可能エネルギーを普及

事例紹介
#2

株式会社ウエダ本社 経営企画室 土本 佳宏さん

当社はオフィス向けの総合商社として、オフィスで使用する様々な機器・備品を提案し、その企業に合わせた社内ネットワークや通信環境を構築することにより、業務効率の向上と働く人がイキイキと働けるオフィス環境を整えることを事業としています。

営利団体である企業が継続的に環境、CSR活動を行うためには「通常の事業活動に結びつけて環境問題等に取り組む」ことが重要と考え、メイン商材のひとつであるコピー機等（以下、複合機）について、電子文書管理の推進等による紙の削減や、省エネモード設定による消費電力削減など、まずは使い方の工夫で環境負荷を低減しました。しかし、これだけでは不十分と考え、更に複合機の使用に伴って排出されるCO₂をオフセットできないかと考えたのですが、遠い海外で行われる環境活動に頼った仕組みしかなく、地域密着型の当社にとってはその仕組みを身近なものに感じられませんでした。

そこで、もっと身近な場所で活動されている方々のお役に立ちたいと考え、「京グリーン電力証書」

を利用した地域循環型カーボンオフセットの仕組みを作りました。「京グリーン電力証書」は、エネルギーの地産地消、京都の自然エネルギー普及に貢献するものです。「京グリーン電力証書」に由来したカーボンオフセット証明書付き複合機を購入することで、複合機の使用に伴うCO₂排出量をオフセットしたとみなすことができます。

成果として、約15トンのCO₂排出量を削減できただけでなく、新聞等のマスメディアにこの活動が取り上げられ、環境問題に取り組まれている方々と新たな出会えたこと、環境活動やグリーン購入に対する社員の意識が高まったことも大きな成果と考えています。今後は、地域に根ざした環境活動の輪の拡大、おひさま発電所（太陽光発電設備を導入した保育所等）を中心とした地域コミュニティの活性化、そして当社の本業であるオフィス分野で高い業務効率と低い環境負荷を両立するオフィスづくりなどに取り組みたいと思っています。



株式会社ホンダカーズ京都

“買い物でエコキャンペーンで 社員の環境意識UP

事例紹介
#3

株式会社ホンダカーズ京都 法人課 課長 駒坂 一博さん

当社は、京都GPNが主催する「買い物でエコ！キャンペーン」に全拠点、全社員で取り組みました。エコな買い物の取り組み状況とこれからの買い物の選択についてたずねる「買い物でエコ！宣言」を全拠点・全社員に配布し、全数回収を目標に実施しました。その結果、社員の環境意識やグリーン購入の意識を浸透させることができました。例えば「アクション1.ごみの発生の少ない商品を選ぶ」では、「今はいつもしている」が21%に対し、「これからはもっと意識する」が53%になりました。

京都GPNの活動としては他にも、京都のエコ企業が集うエコビジネスフェアにも出展をしました。

その他の取り組みとして、地域の小学校で、エネルギーをテーマとした出前環境学習を実施しました。この取り組みはホンダ本社で地域貢献大賞を受賞し、CSRレポート環境編にも掲載されました。また、自動車を扱う企業であることから、エコドライブの推進や燃料電池を利用した自動車などの普及を通して、未来の循環型社会をつくろうとしています。

京都GPN 代表幹事
植田 和弘より
コメント

三社の事例に共通してわかることは、このような取り組みはCSRとしてアピールできるだけでなく、社員の環境やグリーン購入に対する意識が高めることができるということです。そして、取り組みをはじめるとその取組みがどんどん広がっていきます。企業がどう活動するかが、低炭素社会や循環社会へ極めて大きな影響を持ちます。企業の活動自体が低炭素・循環型であることが重要で求められている現在、三社による事例をきいて、心強く感じました。

学んだ！
ディスカッションした！
気づいた！

グリーン購入基礎研修



7月8日（木）に、会員であるウエダ本社ビル（京都市下京区）にて、グリーン購入ネットワーク事務局次長の深津学治氏を講師に、グリーン購入の基礎研修を行いました。グリーン購入とは何か、どういう効果があるのか、社内でどう取り組めばよいのか、会員の都タクシー株式会社、ウエダ本社の取り組み事例を交えつつ紹介しました。



参加者は約10人と少なかったのですが、午前10:00から午後5:30まで一日をかけてグリーン購入についてじっくりと学びました。講座途中には、「携帯のグリーン購入ポイント」について、グループにわかれてディスカッションをし、グリーン購入をする際のさまざまな視点を学びました。終了後は、ウエダ本社ビルの緑化された屋上で夕方の風を楽しみながら懇親会を行い、交流を深めました。

小川珈琲株式会社 生産部 野村 誠さん

「グリーン購入ネットワーク様に参加する経緯は弊社お客様からの要望でした。

それまでも社内で備品購入（主に事務用品）に関しては、可能なかぎりエコマークを意識してグリーン購入を実施しておりました。しかしそこからの進展はあまりないのが現状です。

今回の研修でグリーン購入の基本的な考え方が多少なりとも理解できたと感じています。今後社内においてどのように浸透させるかが課題と感じました。制度で対応するだけでなく、従業員の意識レベルが向上するように取り組めればと思っています。」

株式会社京都銀行 総務部管財室 近藤 晃朗さん

「ものの選び方を見直す、生活の仕方を見直すという導入部分から始まりました今回の研修で、グリーン購入を系統だって学べたことが、今後の当社のグリーン購入促進やグリーン購入方針の作成に役立ったと思います。

グループによるディスカッションも上記の導入部分を考える良い機会になりました。また都タクシー様やウエダ本社の環境への取り組みをお伺いし、当社に足りない部分はなにかということも考えるよいきっかけになりました。

なにより今回研修を一緒にうけた各社の担当の方々と、いろいろなお話しができ、会社での環境担当者の“共通の悩み”を共感でき、今後の励みにもなりました。ご参加の機会を与えていただきまして誠にありがとうございました。」

申込み受付中

京都 GPN チャンネルで 環境活動を紹介しませんか？

www.k-gpn.org/kgpnch/

京都グリーン購入ネットワークでは、グリーン購入の仕組みや意義を広く理解していただくこと、グリーン購入等に取り組む会員企業をPRすることを目的に、動画で情報発信を行う「京都GPNチャンネル」を開設しました。

環境問題に対する企業姿勢は、その企業のイメージやブランディングに大きな影響を与えます。これまでのグリーン購入等の取り組みについてお話いただき、その取り組みを支えている環境問題に対する思いを語っていただくことは、その企業にとってのPRになるだけでなく、グリーン購入の裾野を広げる大きな効果があると私達は考えています。

「京都GPNチャンネル」の趣旨をご理解いただき、協賛していただける企業を（ただし、京都府内に事業所のある企業に限る）募集しますので、この機会にぜひご検討下さい。

制作（撮影～編集）

- ・インタビュー映像の撮影・編集など、制作を代行します
- ・グリーン購入や環境問題に関する表現など、京都グリーン購入ネットワークがアドバイスします。
- ・京都GPNチャンネル内の協賛企業枠で動画を公開（1年間※次年度以降は別途再契約）

【協賛金額：10万円（会員企業）／15万円（非会員企業）】

***効果的なPRが可能……**貴社のウェブサイトや京都GPNチャンネル（貴社動画専用ページ）をリンクすることで、貴社ウェブサイトの訪問者に対して動画を利用した効果的なPRができます。

***リンク効果……**京都GPNチャンネルのウェブサイト訪問者が貴社の動画を観て、貴社のウェブサイトにも訪問する可能性が高くなります。

***営業ツールとして活用……**インターネットに繋がる環境があれば、営業先等でPCまたは携帯を利用してお客様に動画を見せることもできます。



新入会員紹介



●株式会社温水器センター

旅館やホテルなどお湯を大量ご使用される事業所に、家庭用エコキュートやガスエコジョーズを利用した業務用給湯設備を提供させていただいております。また、太陽熱温水器やソーラー発電は独自の理論に基づき、一般とは一味違った設置方法で効率 up させる努力をしております。日本ソーラー&人力ボート協会主催のソーラーボートレースにおいて過去5年間で4回優勝した経験と技術から、太陽光で発電した電気を蓄電して家庭用100V電気に変換する装置である「ソーラー独立電源装置」が生まれました。今後ともこれらの太陽光発電を最大限に効率よく利用する技術を活かし、CO₂削減に努力いたします。



開発したソーラーボート

●有限会社アップル・ワイズ

京都北山杉の磨き丸太製造の過程で排出される樹皮から消臭剤Bio-T(写真)を開発し、製法特許を出願しました。この消臭剤Bio-Tは京都産業エコ推進機構から「京都エコスタイル製品」に認定されました。Bio-Tは、樹皮を原料とする化学物質を使用しない消臭剤です。本来焼却される樹皮を原料としているので、資源の有効活用にもなっています。自社では、エコ活動としてアイドリングストップなど「無理をしない身の丈に合ったエコ活動」を心がけています。



●有限会社橋本工業

当社は京都市及び府下12市町村指定の水道工事業者で、公共工事を主体に一般家庭建築物の水回りの配管工事全般を主業務とする管工事業者です。平成22年3月1日にKESステップ2を取得し、日々環境負荷低減に努力しています。

その一環として現場では再生材料等の積極使用、企業内ではグリーン商品の積極購入を実施しています。今回の京都GPNへの加盟に伴い、更なる環境負荷低減に努めていきたいと思っています。

●有限会社アイティーオー

弊社は、「地球環境及び社会の安全環境を守る為に優れた技術と商品を提供することにより、広く社会に貢献する」を企業理念とし、地球温暖化の抑制につながる省エネ・CO₂削減に関連する製品(LED道路灯・LED照明灯等)の提供をはじめ、暮らしの安全を守る弊社オリジナルの床の滑り止め加工(ファイブディフェンス)の普及につとめております。今後も地球環境及び社会の安全環境を守る製品の開発及び提供に取り組んでいきたいと思っております。



滑り止め加工の施工の様子

京都グリーン購入ネットワーク会員数 (2010年8月現在)

■会員数：148 (内訳：企業109 自治体6 団体23 個人10)

新入会員……株式会社グリーンテクノ 21

会員募集中!

●掲載された団体にお問合せを希望される場合は事務局までお尋ねください。

お問合せ/入会申込み

京都グリーン購入ネットワーク事務局 <http://www.k-gpn.org>

[TEL] 075-241-4664 (FAX同じ) [E-mail] kgpn@dolphin.ocn.ne.jp

〒604-0932 京都市中京区寺町通り二条下る呉波ビル3階 特定非営利活動法人 環境市民 内



京都グリーン購入ネットワーク

このニュースレターは広報コミュニケーション部会メンバーによって作成いたしました。

株式会社ウエダ本社、京都市、京都府、京都府商工会連合会、京都府生活協同組合連合会、長岡京市、南丹市、株式会社ホンダカーズ京都 (50音順)

[2010年8月発行]